

第三八卷第一号（一九八四年七月）

論 文

一九四一年より一九四九年にいたる

アメリカ世界経済におけるドイツと日本

——比較研究のためのひとつの試み——

……………ゲルト・ハルダッハ

鶴川馨 訳

マルクス主義の創始と発展（二・完）

井上周 八

Conceptualising the Quality of Working

Life (QWL)—No. IV……………菊野 一雄

研究ノート

簿記の任務と勘定理論……………

茂木虎雄

——戸田義郎教授の所説によせて——

一九世紀前半オランダ工業の展開……………

原島正衛

——オランダ産業革命論形成への一視角——

レオン・フォーシエルの「南欧同盟」構想……………村田春美

——一九世紀前半期フランス関税政策史との

かわりて——

研究会報告

第三八卷第二号（一九八四年九月）

論 文

再生産論の確立過程の研究……………

水谷謙治

カント哲学とマルクス主義……………

井上周 八

ニュー・イングランド綿業企業における

資本金利益率計算の若干の事例について

……………高浦忠彦

ソヴェト経済における

基本投資と生産発展フオンド……………成田幸範

現代日本におけるME技術と産業合理化……………

名和隆央

中世都市ウィンチスタとサウスハンブタン(八)

——第十三世紀初葉以前イングランドの

内域都市と沿海都市——

……………田中正義

研究ノート

H・H・ブルーンの

「M・ウェーバー価値分析論」研究……………山田正範

書 評

藤田武夫著『現代日本地方財政史（下巻）』

（日本評論社、一九八四年六月刊）……………和田八束